

4 意見交換会結果

4-1 意見交換会の概要

(1) 意見交換会の目的

- ①多賀城市内の生活交通サービスの現状と課題を共有すること
- ②適正な財源投資と生活交通サービス提供のあり方について、議論すること
- ③本意見交換会の結果について、市民の意見として地域公共交通会議に報告すること

(2) 意見交換会の日時

- ・平成 24 年 10 月 17 日（水）19:00～21:00 第 1 回住民意見交換会（山王公民館：西部）
- ・平成 24 年 10 月 18 日（木）19:00～21:00 第 2 回住民意見交換会（笠神会館：東部）

(3) 意見交換会の広報

- ・多賀城市的広報誌及びホームページ上に意見交換会の概要を掲載し、参加を呼び掛けた。

(4) 意見交換会の進行方法

①意見交換会の目的等の説明

- ・生活交通ネットワーク計画の事業の趣旨、意見交換会の目的について、説明を行った。

②多賀城市的生活交通の現況の説明

- ・多賀城市的生活交通の現状と課題について、資料に基づいて説明を行った。

③意見交換

- ・資料の説明後、参加者を 4 グループにわけ、2 つのテーマ（テーマ 1：バスで解決したいこと、実現したいこと、テーマ 2：バス運行の重要なポイントは何か）について議論した後、グループごとに議論の結果を報告し、とりまとめた。

○テーマ 1：バスで解決したいこと、実現したいことは何か

- ・右の色紙カードを 1 人 3 枚配布し、バスを利用して、どこに、いつ、何のために行きたいのか、また、今はどうしているのかを記入してもらった。

質問事項	具体的な内容
「どこに」行きたい？	
「いつ」行きたい？	
「何のために」行きたい？	
「今は」どうしている？	

○テーマ 2：バス運行の重要なポイントは何か

- ・多賀城市的財政負担等を考慮（サービス向上にはお金がかかる）して、バスを利用しやすくなるための重要なポイントを 2 つあげてもらい、具体的な内容を記入してもらった。

項目	どの程度の改善なのか
① 運行頻度・運行時間帯 (便数を増やすこと) (朝早く、夜遅く運行すること)	
② 運賃 (料金を安くすること)	
③ 運行ルート (行き先を変えること) (バス停を設置すること)	
④ 所要時間 (早く目的地に着くこと)	
⑤ その他	

4-2 意見交換会の結果

(1) 意見交換会への参加状況

①参加人数について

- ・平成 24 年 10 月 17 日（水）第 1 回住民意見交換会（山王公民館：西部）：16 人
- ・平成 24 年 10 月 18 日（木）第 2 回住民意見交換会（笠神会館：東部）：20 人

②参加者の路線バスの利用状況について

- ・日常的に路線バスを利用している住民は少なく、現在、目的地までは自動車、自転車、徒歩、タクシー等で移動している住民が多い。

(2) 多賀城市内の生活交通サービスの現状と課題の共有

- ・多賀城市内の生活交通の運行状況、路線バスの利用状況、市の財政負担状況等を説明し、現状と課題について理解してもらった。

(3) 適正な財源投資と生活交通サービス提供のあり方の議論

①バスで解決したいこと、実現したいことについて

- ・目的は買物、通院、公共施設等が多かったが、通院や公共施設等の外出頻度は 1 回/週以下となっている。また、外出時間帯は午前中の外出が多い。

目的	行き先	外出時間帯	外出頻度
買物	生協、イオン等	午前中の 外出が多い	毎日～2 回/週程度
通院	坂総合病院等		1 回/週～1 回/月程度
その他	公共施設（市役所、文化センター、図書館、プール等）		2～3 回/月程度

②バス運行の重要ポイントについて

- ・主な重要ポイントとして、以下のような意見が出た。

○西部地区

項目	主な重要ポイント	【備考：既存調査結果】
運行本数・運行時間帯	<ul style="list-style-type: none">・東部線のような 1 時間に 1 本くらいの運行・午前中に集中的に運行し、昼の時間帯はなし	<ul style="list-style-type: none">・アンケート結果において、運行本数の増加に対する要望割合が高い・アンケート結果において、外出の時間帯は 8～11 時台が多い
運賃	<ul style="list-style-type: none">・東部線と同じくらい支払ってもよい	<ul style="list-style-type: none">・東西で料金格差が発生している
所要時間	<ul style="list-style-type: none">・効率的に運行し、運行時間の短縮	<ul style="list-style-type: none">・1 周あたりの運行時間が約 50 分
その他	<ul style="list-style-type: none">・市内だけでなく広域も含めてバスの情報がわかるパンフレット等が必要	<ul style="list-style-type: none">・現在、一体的に生活交通の運行状況等を提供する情報媒体がない

○東部地区

項目	主な重要ポイント	【備考：既存調査結果】
運行本数・運行時間帯	・朝と夕方の運行本数の増加	・乗降調査結果から朝ピークの利用者が多い
運行ルート	・坂総合病院を経由	・アンケート結果において、ルートの改善に対する要望割合が高い ・近隣のバス停から徒歩 12 分かかる
その他	・多賀城駅前における待ち空間の整備	・現地踏査結果から多賀城駅前に待ち時間を過ごせる場所がない